

不二製油 サステナブル・オリジン 2022/2023 レポート



ハイライト

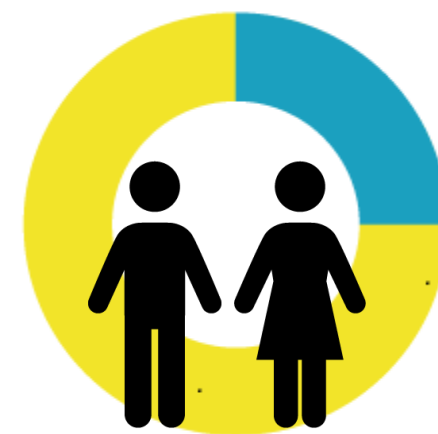
農家からの購入数量
(カカオ豆換算)



3,000MT

※不二製油(株)の購入数量

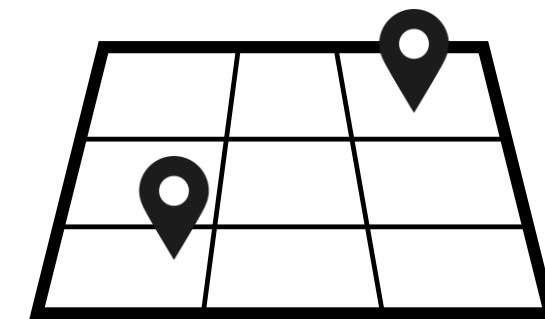
支援農家数



3,096農家

※内、25%が女性

農家のマッピング



98.4%完了

不二製油 サステナブル・オリジン
2022/2023レポート

農園活動報告

不二製油の「サステナブル・オリジン」は、不二製油独自の「カカオ豆購入による資金援助」を行う活動です。

基準を満たしたカカオ豆にプレミアム（支援金）をつけて購入することで、生産農家の課題を改善する活動を支援します。



SUSTAINABLE・ORIGINS

課題

- ・小規模農家
- ・所得が低い
- ・児童労働
- ・教育を受ける機会が乏しい
- ・農業技術不足
- ・森林を破壊した農地拡大

手段

- ・CLMRS※による児童労働の監視及び改善
- ・事業後継者への教育及び農業指導と支援
- ・女性の就業支援（収入改善研修）
- ・森林保全教育
- ・監視モニタリング
- ・日よけ樹林の提供

目標

**児童労働を
2030年までに撤廃**

生活環境の向上

森林破壊防止

※CLMRS (Child Labour Monitoring and Remediation System:児童労働監視改善システム)

不二製油 サステナブル・オリジン
2023/2024レポート

ガーナプログラム^oの活動内容と実績

1. すべての農家を対象にした内部調査を実施

これにより農業活動中だけでなく、日ごろの生活においても農家の活動が持続可能なものになっているか、プログラムにおいて規定されている要件に準拠しているかを確認できるとともに、これまで地図に載っていなかった農家のマッピングも容易になりました。

2022/2023シーズンにおいて農家数は目標には届きませんでした。支援対象農家より購入したカカオ豆は目標の3,000MTを達成しました。



2022/23シーズン	目標	実績
GPSデータ取得農家	3,500農家	3,096農家

2. 農家の生活水準の向上

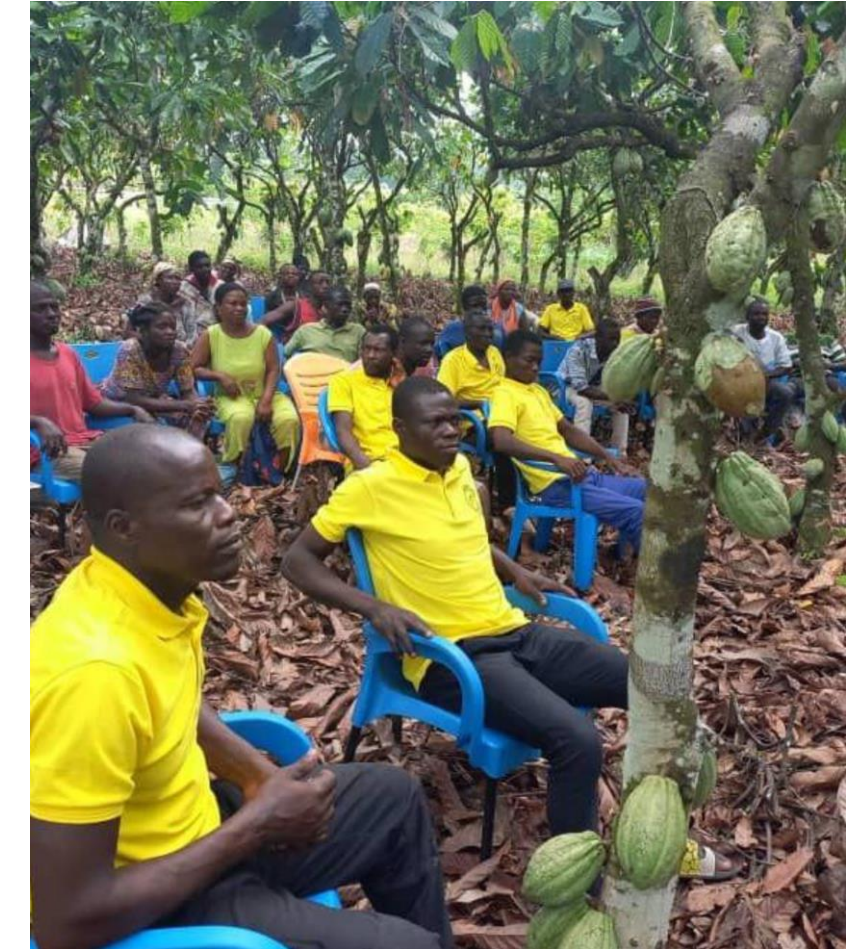
農場改善計画（FDP = Farm Development Plan）を通して将来起こり得る農家の利益と損失を予測します。収穫量を増やし生活の向上を実現するために、農場管理と拡張について責任ある選択をするためにもこの取り組みは重要です。今年度においては450の農家がFDPに登録され、農園の状況に応じて、カカオ樹木の植え替えの実施、接ぎ木の実施、土壌改良の追加などを行いました。



2022/23シーズン	目標	実績
支援対象農家の状況調査	450農家	450農家
女性/若年層の就業支援	120名	120名

3. GAP研修所のモニタリング

異なるコミュニティに設置されたGAP研修所での試験により、適切な割合での肥料や有機堆肥の使用、除草や選定を実施することで、収量が増えることがわかりました。これらを実施することで、これまでの伝統的な農法で生育された場合、1本あたり平均30個のカカオポッドが生産されるのに対し、平均35個まで向上することが確認されました。



2022/23シーズン	目標	実績
適正農業規範（GAP）の コミュニティ研修所設置	12研修所	12研修所

4. 児童労働モニタリングと改善システムの導入

コミュニティの農家ごとにインタビューによる調査を行い児童労働の実態を把握し、研修・教育を行い改善を促して行きます。更に、改善活動の成果もモニタリングして行きます。



①モニタリング数

2022/23シーズン	目標	実績
児童労働モニタリングシステムによる 児童労働の監視	3,500農家	3,096農家

②その中で把握された児童労働の実態

危険労働※1に従事	334ケース
軽度の労働※2に従事	929ケース
労働に従事してはいないが学校に行っていない児童がいる	45ケース

※1 器具を使用する草刈り・剪定、鎌を使った収穫、木を切り倒す、重量物の運搬

※2 草刈り、剪定後に実・ポッドなどを集める、薪集め、大人がポッドを割った後の実の取り出し

学校への入学支援、教材の提供、出生証明書登録支援、子どもの権利教育などを実施しています。

③児童労働の改善のために各コミュニティ団体とともに取り組んでいます

- ・学校管理委員会との連携：活動地区の一つであるHunianoにて委員会メンバー136名への研修を実施しました。
- ・児童保護委員会との連携：最近の取り組みではOwusukrom地域において2件の児童労働の事例が確認されましたが、双方とも学習教材が無いことが学校に行かない理由であったのでそれを提供し改善策を講じました。

5. 農家生活所得の向上

カカオ収穫のオフシーズンでの収益を如何に上げるか、これも重要な課題の一つです。ピーマンやトマトの苗木を配り、栽培方法のトレーニングなどを実施しています。このトレーニングは女性も対象としており、これら収穫物から得られた収益で自分の子どもたちのためのペン、本、計算具の購入に役立ちました。



2022/23シーズン	目標	実績
事業後継者の教育と支援	12農家	12農家

6. 森林破壊防止活動

森林再生を目的とし地域森林委員会とともに保全教育・アセスメントなどに取り組んでいます。

2022/23シーズン	目標	実績
地図化・森林保全教育	3,500農家	3,054農家
森林破壊アセスメントとモニタリング	3,500農家	3,096農家
日よけ樹木の配布	10,000本	10,000本

7. プログラムへの参加農家数と購入数量

2022/23シーズン	目標	実績
場所：ガーナ西部地域：Tarkwa	3,500農家	3,096農家
生産数量	3,000トン	3,000トン

8. プレミアムについて

2022/2023年度

3,794万円

※その時期の為替レートに基づき、
日本円に換算しております

取り組み項目	カカオ豆あたり (%)
マッピング&トレサビリティシステム導入の取り組み	14
農業技術指導への取り組み	5
女性の生活支援の取り組み	1
児童労働モニタリングへの取り組み	30
森林再生、日陰樹の栽培と配布への取り組み	5
農家へのプレミアム還元	20
証明書発行	5
管理費（産地活動・指導者人件費および経費）	20
	100

プログラムとしてカカオを購入したすべての農家の登録がされ、児童労働や森林破壊のアセスメントとモニタリングが実施されていることを確認しました。児童労働については把握した数値を公表していること、コミュニティ団体との連携を進めていることは評価できます。特定された危険労働に対して改善件数が報告されていないところは改善の余地があります。また農家の生活水準向上については、栽培技術の向上のための研修や女性・若者の就業支援を通じて継続している点も確認しました。

全体として、報告内容が活動を実施した対象農家数等のアウトプットレベルに留まっているため、活動の結果として、児童労働や農家の生活水準がどのように改善されているのかアウトカムレベルまでの報告がなされることを今後期待します。研修等の対象者がさらに拡大されることも期待します。

支援を拡大する上でも、プレミアム豆の流通が増加することが大前提であるため、プレミアムを通じた支援の意義やサステナブル調達が世の中により理解され、主流になることを願っています。

(特定非営利活動法人ACE)